Web2HTTP

古き良き時代

プラットフォーム	開発言語	アプリの展開
Mac OS	C	インストーラー, コピー
Windows	C	インストーラー



現在

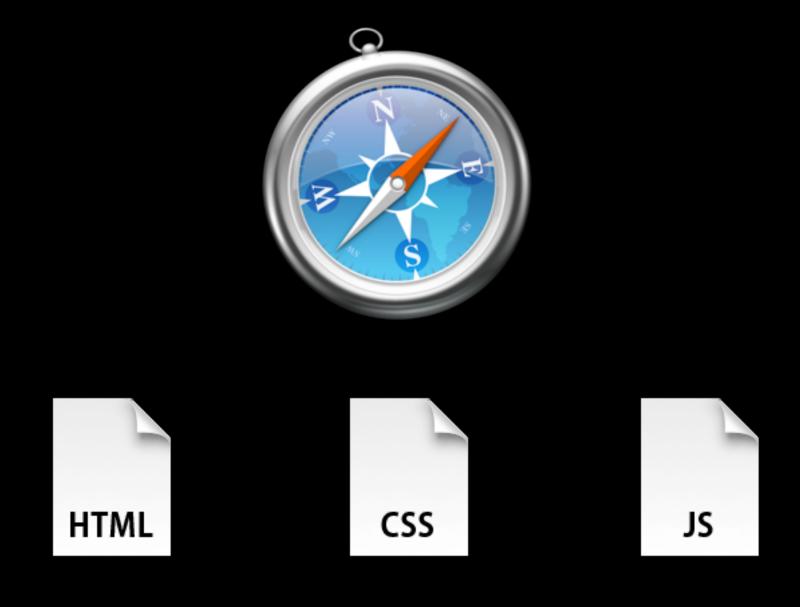
プラットフォーム	開発言語	アプリの展開
Mac OS	Objective-C	インストーラー, コピー, App Store
Windows	C/C++/C#/VB	インストーラー
iOS	Objective-C	App Store
Windows Phone	C/C++/C#/VB	Windows Phone Market Place
Android	Java	Android Market

現在

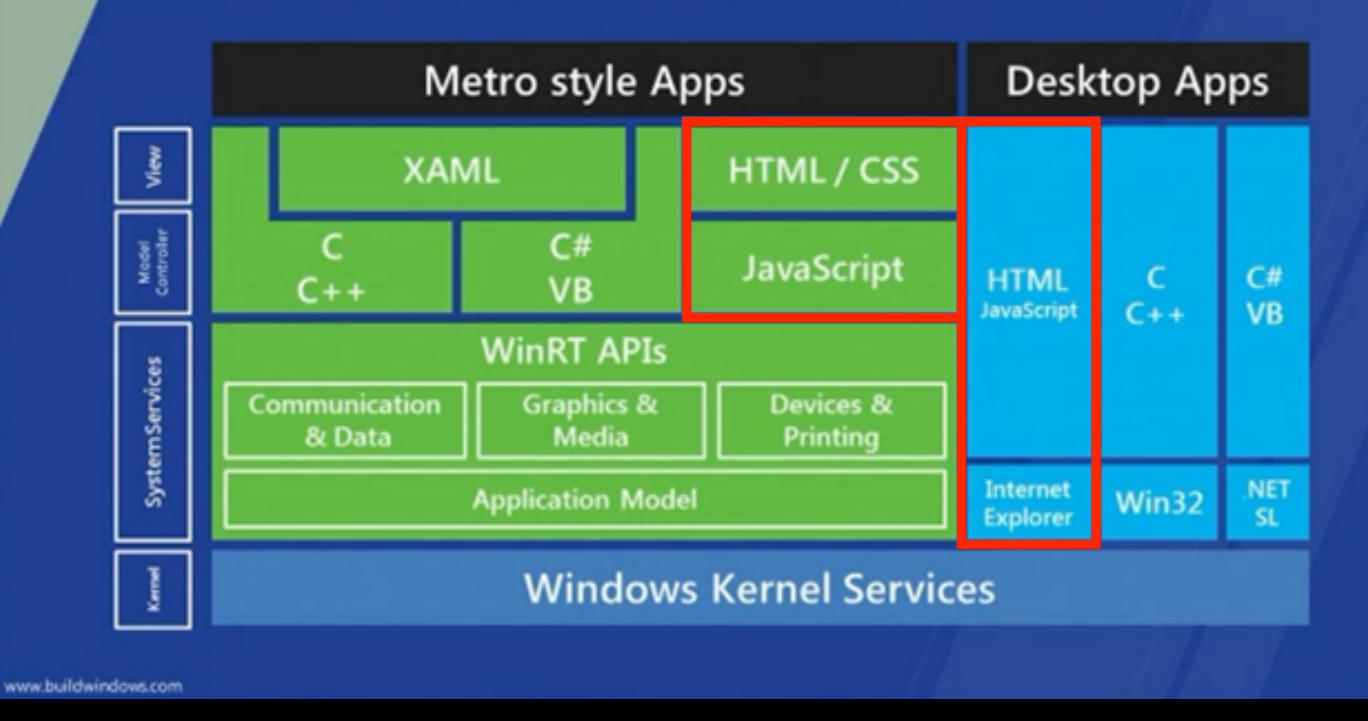








Windows 8 Platform and Tools



WebとHTTP関連技術の 習得は必須

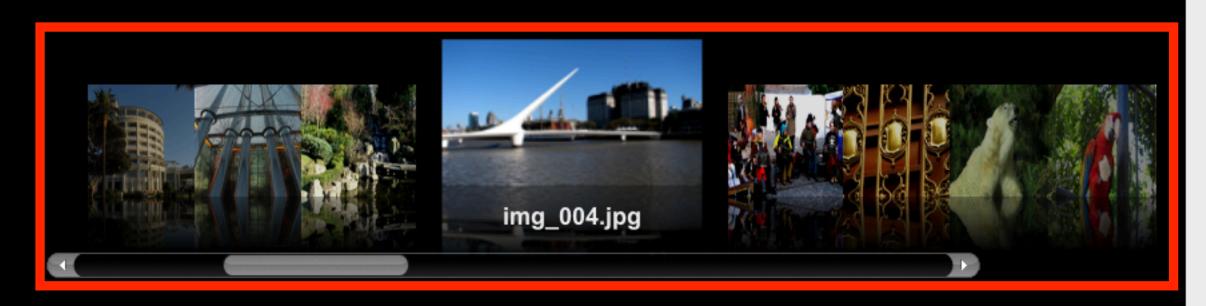
Webエリア

went HTTPクライアント

HTTPサーバー

Webエリア







メタデータ	値		
▼ EXIF			
ApertureValue	4		
ColorSpace	1		
ComponentsConfigura	1;2;3;0		
CompressedBitsPerPix	5		
CustomRendered	0		
DateTimeDigitized	2010-05-30T12:0		
DateTimeOriginal	2010-05-30T12:0		
DigitalZoomRatio	1		
ExifVersion	0220		
ExposureBiasValue	0		

Webエリア v12

Mac OS



Windows



Webエリア v13

Mac OS



または



Windows



OS組み込みエンジン





最新バージョン!

4D組み込みWebKit



Mac OSとWindows で同じエンジン

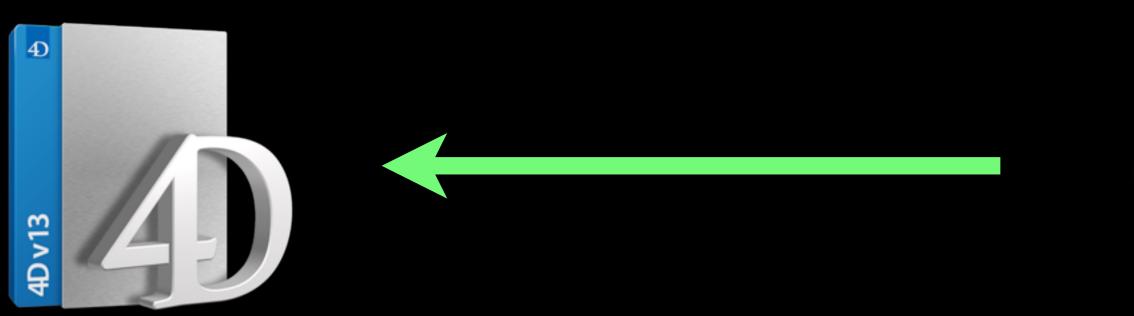
▼ ③ Webエリア	
URL	Webエリア_url
進捗状況変数	Webエリア_progress
統合されたWeb Kitを使用	

使い分け

OS組み込みエンジン

4D組み込みWebKit

4Dとの会話



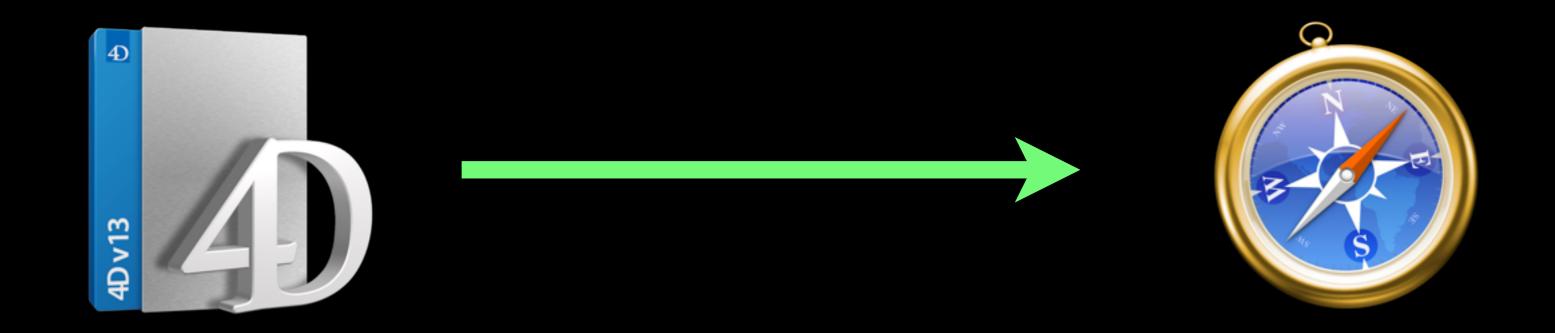


WA SET URL FILTERS On URL Filteringイベント

4Dとの会話

```
<a href="#"
onclick="window.location.href='
m4d:xxx'; return false;">
```

4Dとの会話



WA EXECUTE JAVASCRIPT FUNCTION WA Execute JavaScript

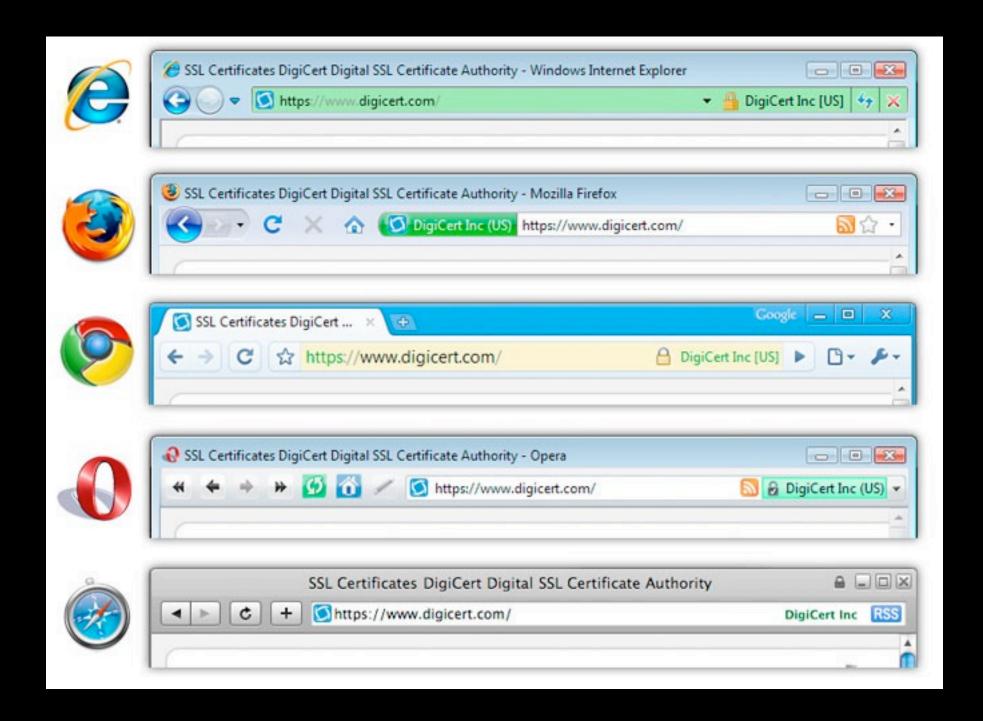
デモ



セキュリティについて



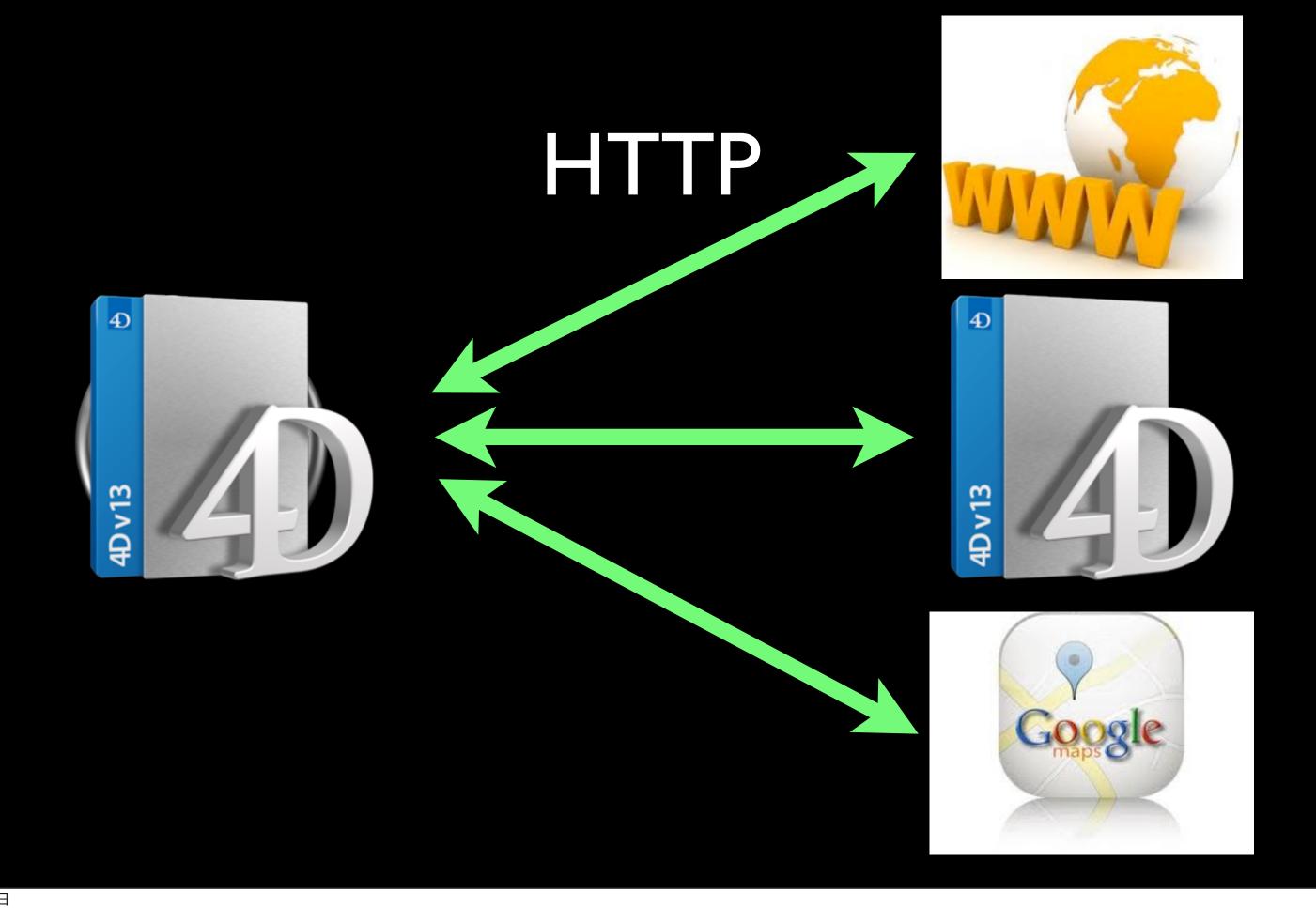
例えばEV SSL

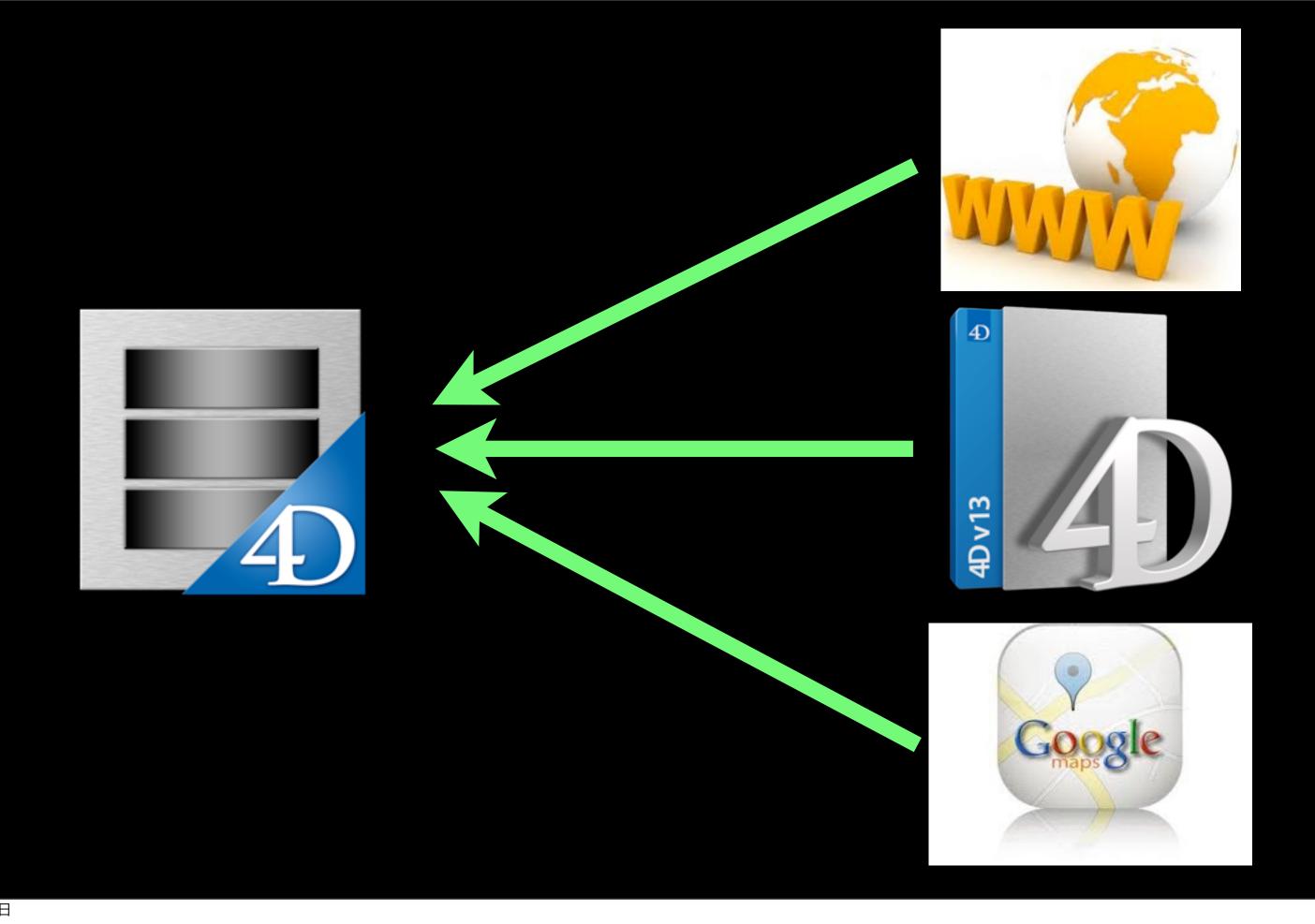


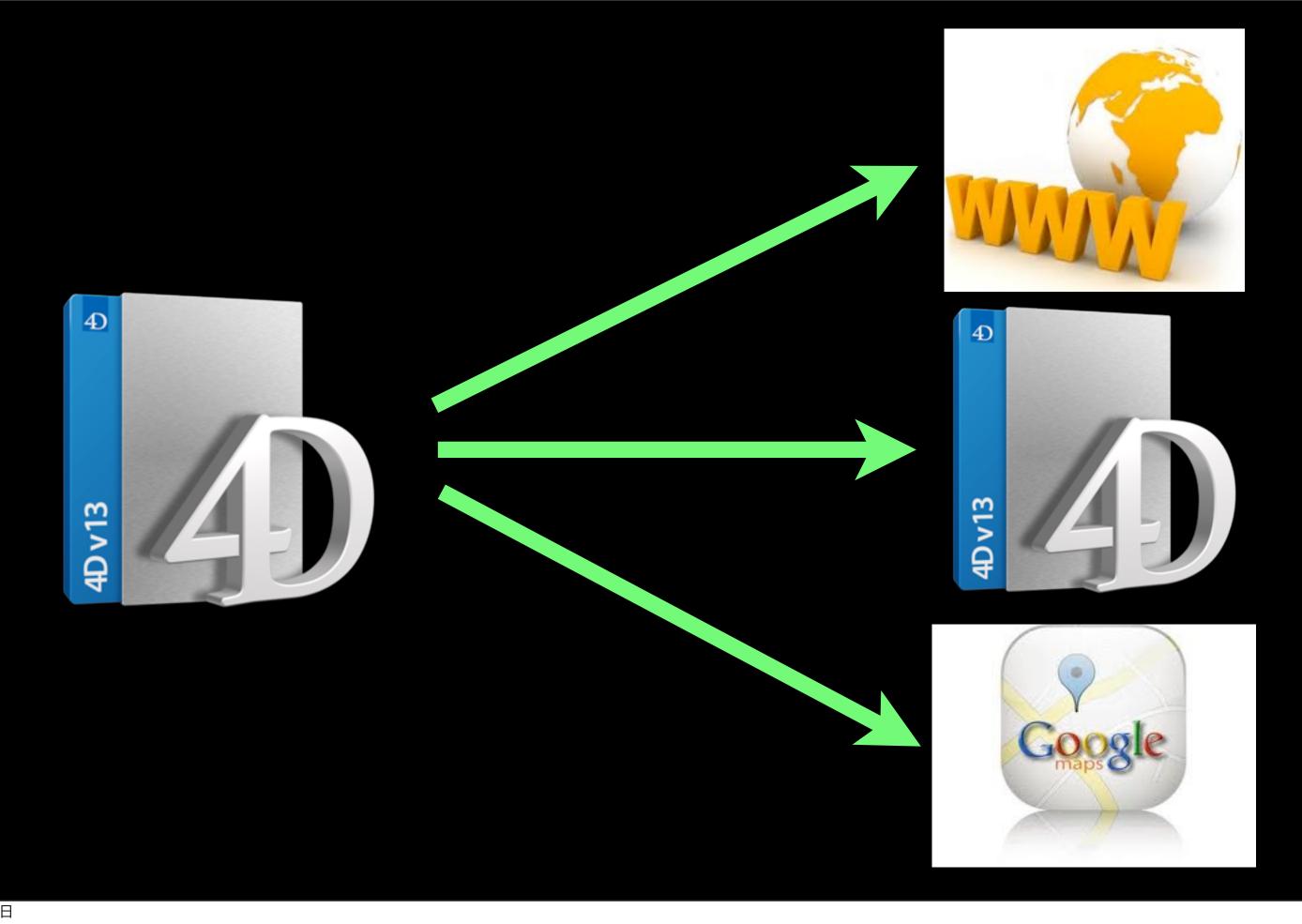
重要

WA SET URL FILTERS (すべてを拒否) WA SET URL FILTERS (特定のURLを許可)

New HTTPクライアント







v12までの実装



4D Internet Commands

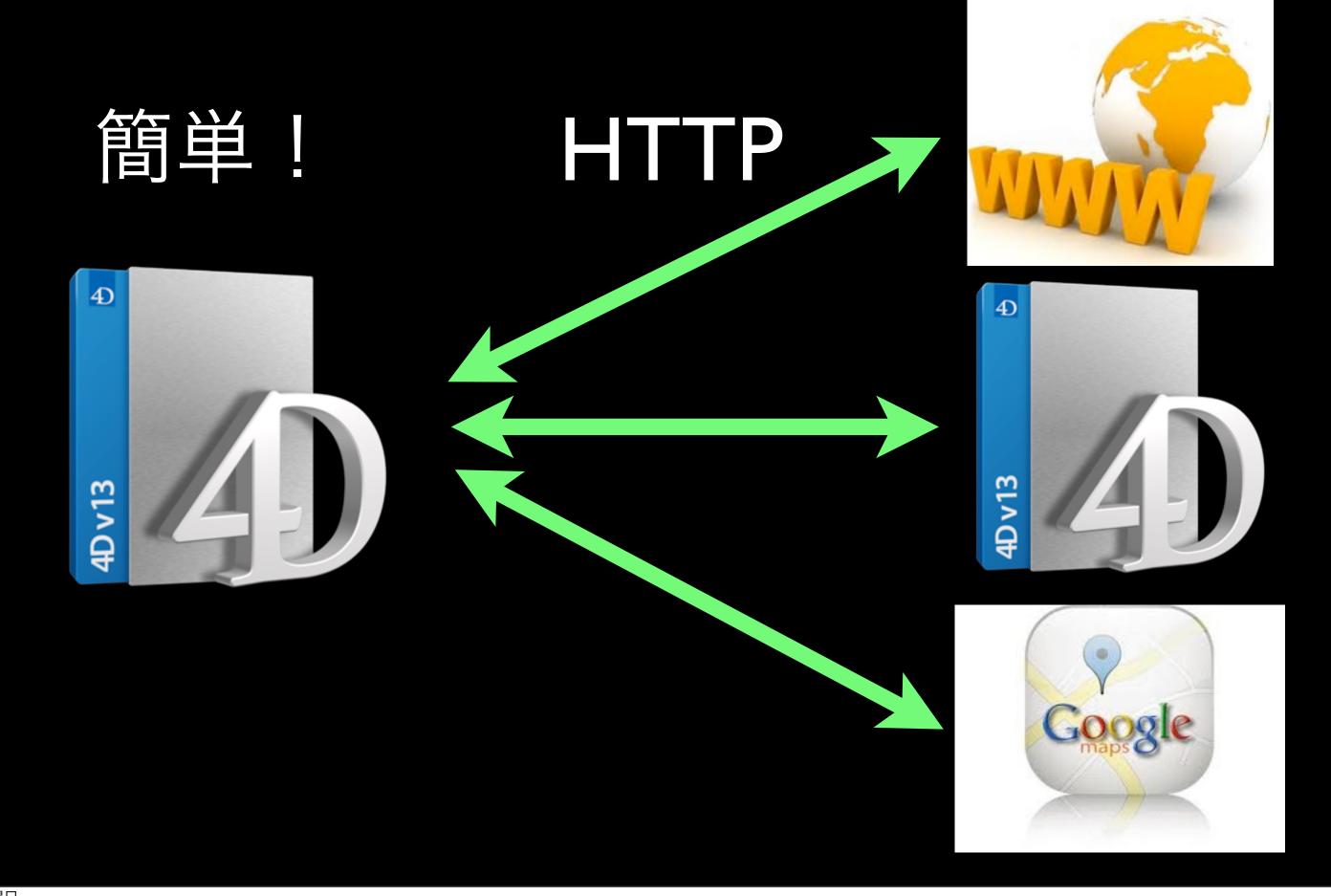
```
// HTTPリクエストを構築
$error_l:=TCP_Open (サーバーアドレス;ポート;$tcpld_l)
If ($error I=0)
 $error_l:=TCP_SendBLOB ($tcpld_l;$toSend_x)// リクエスト送信
 If ($error I=0)
  SET BLOB SIZE($result x;0)
  Repeat // レスポンス受信の間繰り返す
   $error_I:=TCP_ReceiveBLOB ($tcpId_I;$buffer_x)
   $error_l:=TCP_State ($tcpld_l;$state_l)
   $dstpos_l:=BLOB size($result_x)
     // 受信したBlobを結合する
   COPY BLOB($buffer_x;$result_x;0;$dstpos_l;BLOB size($buffer_x))
  Until (($state_l=0)|($error_l#0))
  $error_l:=TCP_Close ($tcpld_l)
  $response_t:=Convert to text($result_x)
  $status_t:=Substring($response_t;Position("HTTP/1.";$response_t)+9;3)
 End if
End if // このあとレスポンスを解析してボディーを取り出す、、、
```

v13以降の実装



4Dだけでできる

ステータス:=HTTP Get(URL;レスポンス)



HTTP Get

URL http://john:pass@mysite.com?a=b

レスポンス テキスト、ピクチャー、バイナリ

ヘッダー名 → 送信するヘッダーを設定する配列 一番信したヘッダーを設定する配列

受信したへッダー配列 ヘッダー値 **サ** 重要: cookieを管理できる

ステータス - 200 (OK) 等

HTTP Request

メソッド ---- GET, POST, PUT, HEAD, DELETE等 http://john:pass@mysite.com?a=b URL → a=b&z=y等 (URLエンコーディング要) ボディ レスポンス テキスト、ピクチャー、バイナリ ヘッダー名 👉 送信するヘッダーを設定する配列

ステータス ← 200 (OK) 等

エラー処理は必須

HTTP AUTHENTICATION

ユーザー名

パスワード

認証モード → BASIC、DIGESTまたは自動

HTTP GET/SET OPTION

圧縮モード (圧縮する)
サーバーからのリダイレクト指示に従うか何回までリダイレクトさせるか認証情報をリセットタイムアウト (120秒)

デモ



注意

サーバーと自分に優しいプログラムを

HTTP+/"-

Windows Inux Mac OS X

OS



アプリ・データサーバー

データベース管理

言語

4D v13 — Web新機能

新HTTPサーバー (WEB SEND BLOBを減らす) MIMEタイプリスト 新夕グ (4DELSEIF, 4DBASE) 4DSYNCリクエストの受付設定 マルチパートリクエストサポート 自動セッション管理

4DIF (条件) DELSE 4DIF 森作ケグ 4DELSEIF (条件) 4DIF 森作ケグ 4DELSEIF (条件) 4DELSE 4DELSE 4DIF (条件) 4DELSE 4DENDIF 4DENDIF

v12まで

4DENDIF

v13

4DIF (条件)

4DELSE

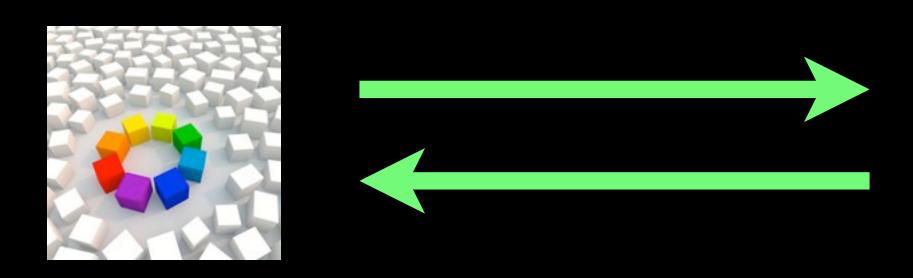
4DENDIF

4DSYNCリクエストの受付設定

4DSYNCリクエスト

http://myserver.com/4DSYNC/\$catalog

SQL同期設定 Webサーバー





テーブル名とレコード数のリスト

v12では

On Web Authenticationデータベースメソッド

```
C_TEXT($1;$2;$3;$4;$5;$6)
C_BOOLEAN($0)

If ($1="/4DSYNC/@")
```

Else

\$0:=True

\$0:=False

End if

v13より

v13 - データベース設定	
→ 日本 インターフェース コンパイラー データベース 移動 パックアップ クライアント-サーバー Web SQL PHP セキュリティ	
設定 オブション (I) オブション (II) ログ (タイプ) ログ (パックアップ) Webサービス 公開情報 「開始時にWebサーバーを起動 TCPポート: 80 IPアドレス: すべて 「SSLを有効にする HTTPSポート番号: 443 □ "4DSYNC" URLを使用したデータベースへのアクセスを許可する	
(HTTPによる同期に使用されます)	
デフォルトHTMLルート: ポリューム "Macintosh HD" の中の "WebFolder" デフォルトホームページ: index.html	
初期設定 キャンセル OK)

マルチパートリクエストサポート

マルチパート - HTML



マルチパートーリクエスト

Content-Type: multipart/form-data; boundary=-xxx

```
---XXX
```

Content-Disposition: form-data; name="file_x";

filename="aaaa.txt"

Content-Type: text/plain

---XXX

マルチパート - 処理 v12

```
COMPILER_WEBメソッド
C_BLOB(file_x) // input name="file_x"
```

BLOB file_xの内容 (バイナリ)

Content-Disposition: form-data; name="file_x";

filename="aaaa.txt"

Content-Type: text/plain

データ

マルチパート - 処理 v13

WEB Get body part count

WEB GET BODY PART

(#;コンテンツ;name属性値;MIMEタイプ;ファイル名)

注意

コンテンツは自分で検証

デモ



自動セッション管理

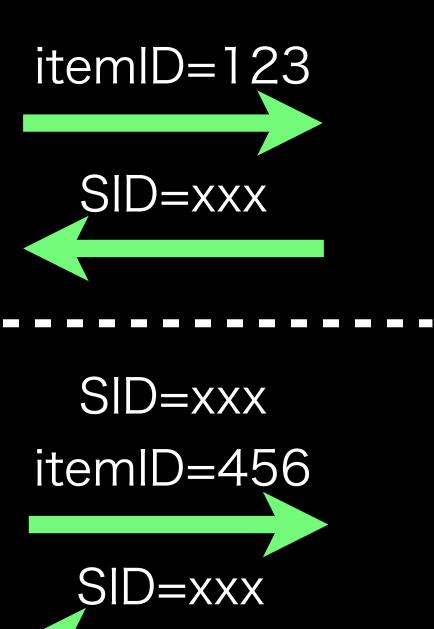
セッション管理(一般)













セッションID XXX セッション変数 XXX: iteintess[182856]

v11までのSESSID設定

(安全な)

セッションID生成コマンドがない

v12でのSESSID設定

```
C_TEXT($header_t)
$header_t:="Set-Cookie: SESSID="+Generate UUID
SET HTTP HEADER($header_t)
```

v12までのセッション再生成

セッションIDから レコードを検索 セッション変数をロード

V13

自動セッション管理

4D v13の自動セッション管理



レスポンス Set-Cookie: 4DSID=01EBF... リクエスト Cookie: 4DSID=01EBF...

4D v13の自動セッション管理

ポイントはプロセスの再利用

4D v13の自動セッション管理

注意点は?

Webセッション管理設定

WEB SET OPTION

(Web Inactive process timeout;秒)

(Web Inactive session timeout;秒)

(Web Max sessions;数)

タイムアウト?

セッションの最大数?

プロセス終了時の処理

On Web Session Suspend データベースメソッド

自動セッション管理-注意点

IPアドレスも判定条件

ユーザー認証は別途実装

デモ



4D v13 - 廃止されるWeb機能

コンテキストモード

外部と通信する アプリを作る時の 注意点 受け付けたデータはバリデートする

出力するデータは エスケープする *4DTEXT (4DVARは停止) *SQLはハベインド

サーバーに優しく

自分に優しく